

科目責任者 庄司 優 (薬効学研究室)

■ 教育目的

各種の臨床検査の実施意義と検査の理論、手技について理解することを目的とする。
臨床検査国家試験出題基準および過去問に添って学習する。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-③、SD-④、SD-⑤】

■ 学習到達目標

臨床検査の基本を取得し、疾患の臨床における検査の病体的意義と用いる検査法を理解する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：テーマに関連した記事をインターネットで検索したり、シラバスの該当するテーマの章に目を通しておく。

復習：配布した授業プリントにもう一度目を通し、授業内で触れた事項等について自分で調べみる。

■ 授業内容

検査の対象となる検体の採取法、取扱い方法、定性検査、定量検査、形態学的検査などの基本的事項について講義する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1～2	一般検査	・尿検査、糞便検査 ・喀痰検査、胃液検査、十二指液検査、髄液検査、穿刺液検査	
3～4	血液学的検査	・血液学的検査のための採血と検体の取り扱い、CBC ・血球形態の観察、白血球百分比 ・血液凝固検査	
5～8	微生物学的検査	・微生物学的検査の基礎 ・細菌の分離と培養・同定 ・ウイルス性疾患の診断	
9～11	血液生化学的検査	・血液生化学的検査のための検体の取り扱い、糖質、タンパク質 ・非タンパク質性窒素成分、膠質反応、脂質、電解質、生色色素 ・酵素、ホルモン、血中薬物濃度 ・機能検査（肝・胆道、消化器、胃、内分泌、その他）	
12～13	免疫学的検査	免疫学的検査の基礎と応用	
14	輸血検査	輸血のための検査（血液型の検査を含む）	
15	病理検査	病理組織学的検査の基礎と組織切片の作成	

■ 授業分担者

大塚 昌信（非常勤講師）、柿木 孝志（非常勤講師）

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験（90％）および出席状況・授業態度（10％）で総合評価を行う。

■ 単位認定方法

上記の成績評価で基準点を越えた者に単位を認める。

■ 教科書

必要に応じてプリントを配布

■ 参考書

『臨床検査法提要第33版』 金井 正光 監 （金原出版）

『改訂新版 臨床検査 基準値ノート』 河合 忠・庄司 優 編 （薬事日報社）